

新経営計画策定に向けた検討状況等について

あいの風とやま鉄道では、新型コロナウイルス感染症がもたらす生活様式の変容など社会経済情勢の変化を踏まえ、将来にわたって安全に鉄道を運行していくため取り組むべき施策などを盛り込んだ新たな経営計画の策定を行うこととしています。

現在、県、市町村、経済団体及びあいの風とやま鉄道からなる「新経営計画検討ワーキンググループ」にて策定に向けて検討を進めているところですが、これまでの検討経過及び今後のスケジュールについて報告いたします。

1. これまでの検討経過

(1)第 1 回 WG (2020. 7. 20 開催)

「これまでの取組みと成果」「今後 10 年間の主な課題」等について意見交換、審議
＜主な意見＞

- ・ MaaS など、他の交通事業者と連携を深めていく視点が必要
- ・ 新型コロナウイルスへの適切な対応を行い、安心して乗車できる環境整備を

(2)第 2 回 WG (2020. 11. 12 開催)

「主な設備投資案」「利用状況調査及び将来需要予測の状況報告」等について審議
＜主な意見＞

- ・ 今後、人口減少が進む中において厳しい状況にあると思うが、新幹線の延伸やインバウンドの回復といったこともあるので、対策を講じ利用者の増加を図ることで目標とすべき利用者数を設定すべきでないか。

2. 今後のスケジュール

新型コロナの影響が大きい状況下では、将来需要の予測が困難であることから、新計画の策定時期を「2021 年 6 月」⇒「2021 年 12 月」に延期し、検討スケジュールも別紙のとおり見直します。

- 今後の収支見通しや基本運行ダイヤの設定に不可欠な今後の利用状況を推計するための「将来需要予測調査」を進めていたが、推計の基礎数値となる利用状況調査（9/24 に実施）での数値が、新型コロナの影響により例年を大きく下回ったことから、委託会社より当該利用状況調査の数値をもとに将来需要予測を行うことは難しい、との申し出がありました。
- そのため、将来需要予測の推計は、次年度の利用状況調査（6 月予定）を基に実施することとし、その結果を踏まえて新計画の策定作業を進めたい。